

安全データシート (SDS)

作成 2021年10月7日
最終改訂 2024年4月17日

1. 【化学物質等及び会社情報】

製品

製品の名称 30seconds ワンステップ・スプレー・クリーナーPro
(英名: 30seconds spray and walkaway Hose End)

供給者情報

製造者 30 Seconds Ltd (ニュージーランド)
輸入者 アルタン株式会社
住所 東京都大田区東糀谷3-11-10
マーケティング室 開発企画課
電話番号 03-3743-5705
FAX番号 03-3743-5706
緊急連絡先 同上

2. 【危険有害性の要約】

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性/経口 区分4
皮膚刺激性 区分1B
眼の重篤な損傷・眼刺激性 区分1

環境に対する有害性

水生生物有害性 短期(急性) 区分1

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、
上記以外の項目は、現時点では「分類できない」又は「区分に該当しない」である。

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
水生生物に強い毒性

注意書き

医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。
子供の手の届かないところに置くこと。
使用前にラベルをよく読むこと。

【安全対策】

スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護面を着用すること。

【救急処置】

飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。口をすすぐこと。
 皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣服をすべて脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。
 ただちに医師に連絡すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。ただちに医師に連絡すること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。
 汚染された衣類を再使用す場合には洗濯をすること。
 漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報

国内法で規定のある場合、並びに、地域で規定のある場合はその規定に従う。

3.【組成・成分情報】

単一製品・混合物の區別
成分及び含有量

混合物

化学名	含有量(wt%)	CAS No.	化審法番号	労働安全衛生法	PRTR法
アルキルジメチルベンジル アンモニウムクロライド (塩化ベンザルコニウム) ※アルキル基の炭素数： 12～16	35%	68424-85-1	(3)-2694	通知対象外物質	該当
水	非公開	-	-	通知対象外物質	非該当
危険有害性に該当しない その他の成分	非公開	-	-	通知対象外物質	非該当

4.【応急処置】

目に入った場合

清浄な水で15分以上洗眼する。コンタクトレンズを着用していて
容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

水で洗い流すこと。汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。医師の手当てを受けること。
直ちに空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が困難な場合、

吸入した場合

医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。意識障害やその兆候のある人に液体を飲ませてはならない。
必要に応じて医師の手当てを受けるか、中毒情報センターに連絡をすること。

5.【火災時の措置】

消火剤

粉末消火器、泡消火器、噴霧消化装置、棒状放水

特有の危険有害性

不燃性の液体だが、加熱すると分解し、塩素系の有毒ガスが発生する。

消化を行う者の保護

自給式呼吸器、安全ブーツ、耐火服、耐火手袋、耐火帽、耐火メガネ

6.【漏出時の措置】

少量の場合

作業の際には皮膚、眼、呼吸器を保護する適切な不浸透性の保護具を着用すること。
乾燥砂、土などに含ませて回収する。

大量の場合

排水溝、下水溝、水流への流入を防ぐ(流入が起きてしまった場合、直ちに自治体に通報する)。
土、砂、その他不活性物質の吸収剤を使用する。火災や環境上の問題を引き起こす可能性があるため、
こぼれた液の清掃にはぼろ布は推奨できない。
適切なラベルが貼られた容器またはドラム缶に回収して密封し、廃棄する。農作物、下水道、水路などを汚染した
場合は、地元の緊急機関に連絡する。
モップで拭き取り、回収可能な物質をラベル付きの容器に集めて、リサイクルまたは回収する。
可能な限り容器をリサイクルする。
廃棄の際は法律、自治体の規制に準拠すること。

7.【取り扱い及び保管上の注意】

- 取扱い** 使用前にラベル・SDSをよく読むこと。
適切な不浸透性保護具を着用すること。
取扱い後は手を洗うこと
環境への流出を避けること。
- 保管** 幼児の手の届かない所に置くこと。
暗所に保管し、漏れがないか確認すること。
所定の容器に密閉・施錠し、風通しのよく直射日光の当たらない冷暗所に保管すること。
食品から離して保管すること。
保管、廃棄に際し、飲用の水や食品、飼料を汚染しないようにすること。

8.【暴露防止及び保護措置】

- 設備対策** 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取り扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
- 保護具**
- | | |
|-----------------|-----------------------------------------------------|
| 目の保護 | 保護メガネまたはゴーグルを着用する。コンタクトレンズの着用は避ける。 |
| 皮膚・身体の保護 | ゴム手袋・安全靴・保護衣を着用する。
使用後、食事をとる場合は保護具を脱ぎ、手の洗浄をすること。 |
- ※ 保護具はいずれも不浸透性のものを使用する。

9.【物理的及び化学的性質】

状態	液体
色調	無色～青白色透明
臭気	特有の芳香
pH	7～9
溶解度	水に可溶
沸点	100°C
蒸気密度	データなし
融点	データなし
比重	0.99
蒸気圧	データなし
その他	-

10.【安定性及び反応性】

- 安定性** 通常の保管状態においては安定である。
避けるべき条件 容器を開放したまま放置するのは避けること。
極端な高温や裸火
可燃性物質の近くでの保管
- 混触危険物質** 酸化性物質
- 危険有害な分解生成物** 有毒な有機化合物のガス・蒸気、アミン、CO_x、窒素塩化物、塩化水素

11.【有害性情報】

- 製品としてのデータはないため、原料からの推定データを記載する。
- 急性毒性** /経口 原料の加算式判定により区分4とした。
/経皮 原料の加算式判定により区分に該当しないとした。
/吸入 データ不足のため分類できない。
- 皮膚刺激性** 原料のカットオフ値判定により区分1Bとした。
- 重篤な眼の損傷性** 原料のカットオフ値判定により区分1とした。
- 呼吸器感作性または皮膚感作性** データ不足のため分類できない。
- 生殖細胞変異原性** データ不足のため分類できない。
- 発がん性** データ不足のため分類できない。
- 生殖毒性** データ不足のため分類できない。
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露)** データ不足のため分類できない。
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露)** データ不足のため分類できない。

12.【環境影響情報】

- 水生生物有害性/急性** 水生生物に対して有毒である。

生体蓄積性	生体蓄積性はないと考えられる。
分解性	速やかに分解される。
土壤	データなし

13.【廃棄上の注意】

容器を廃棄する際にはよく水で洗うこと。
関連法規並びに地方自治体などの基準に従って適切な処分を行なうこと。

14.【輸送上の注意】

この製品は以下の規制において危険品に分類される。

- IDMG
- IATA

国連番号	1760
国連分類	クラス8,9
品名	CORROSIVE LIQUID, N.O.S (Benzalkonium chloride) MARINE POLLUTANT
容器等級	II
海洋汚染物質	該当

15.【適用法令】

化学物質排出把握管理促進法	該当
化審法	非該当
船舶安全法	該当
労働安全衛生法	通知対象物質 非該当 表示対象物質 非該当 リスクアセスメント対象物質 非該当 皮膚等障害化学物質 該当

16.【その他の情報】

記載内容の問い合わせ先

住所	アルタン株式会社 東京都大田区東糀谷3-11-10
担当部門	マーケティング室
電話番号	03-3743-5705
FAX番号	03-3743-5706

改訂履歴

作成	2021年10月7日
改訂	2021年12月20日
改訂	2022年4月8日
改訂	2023年4月4日
最終改訂	2024年4月17日

注意

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・記載内容は現時点での入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申しあげます。